

2018年 自由の森学園教育講演会 トークセッション 佐藤和夫さん×小玉重夫さん

なぜ今、市民教育／シティズンシップ教育か？

——ハンナ・アーレントのしごとを手がかりに

人間が人間らしく育つ営みを助ける——それが自由の森学園の教育理念のひとつです。しかし今、人間が人間らしく生きられる基盤と世界が揺らいでいます。教育の危機や政治の不在をどうみるのか、その背景には何があるのか、私たちはそれらとどう向き合っていくべきなのか。

今回はアーレント研究で著名なお二人、佐藤和夫さんと小玉重夫さんをお招きし、人間と世界のありようについて考え合いたいと思います。

佐藤和夫（さとう かずお）1948年生まれ 千葉大学名誉教授（哲学）
著書に『<政治>の危機とアーレント—『人間の条件』と全体主義の時代』（大月書店）、『仕事のくだらなさとの戦い』（大月書店）他
共著書に『ラディカルに哲学する』（大月書店）、
『喫茶店のソクラテス』（はるか書房）他
訳書にハンナ・アーレント『精神の生活』（岩波書店）、
『政治とは何か』（岩波書店）他
小玉重夫（こだま しげお）1960年生まれ
東京大学大学院教育学研究科教授（教育哲学・教育思想）
著書に『難民と市民の間で ハンナ・アーレント『人間の条件』を読み直す』（現代書館）、『シティズンシップの教育思想』（白澤社）他

*日時 9月17日（月・祝）午後2：00～4：30

*場所 ワイム貸会議室 高田馬場 Room C

*主催 自由の森学園 *後援 自由の森学園の教育を支える会

*連絡・問い合わせ先 tel 042(972)3131 fax 042(973)7103



支える会 QRコード

